株式会社 第一ライフグループ
第一生命保険株式会社
〒100-8411 東京都千代田区有楽町 1-13-1
第一生命日比谷ファースト

2026 年 8 月 24 日

日本国が発行するクライメート・トランジション利付国債への投資
～投資を通じて日本におけるグリーントランスフォーメーション（ＧＸ）を後押し～

株式会社第一ライフグループ（代表取締役社長グループ CEO：菊田 徹也、以下「第一ライフグループ」）は、第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野 俊亮、以下「第一生命」）からの委託[1]を受け、日本国が発行するクライメート・トランジション利付国債（第 5 回、2026 年 8 月発行、以下「本債券」）に投資を実施しましたので、お知らせします。本債券は、日本政府が掲げるカーボンニュートラルに向けた目標と、産業競争力強化・経済成長を同時に実現していくことを目的に発行された債券です。

日本政府は 2020 年 10 月に「2050 年カーボンニュートラル」を宣言しており、カーボンニュートラルに向けた目標の達成と産業競争力強化・経済成長を同時に実現していくためには、10 年間で 150 兆円を超える官民投資が必要であるとされていることから、国として長期・複数年にわたり投資促進策を講ずるために 20 兆円規模の「脱炭素成長型経済構造移行債（GX経済移行債）」を発行することを決定しました。

本債券は、この枠組みに沿って発行された債券であり、調達された資金はGX推進戦略に基づき「クライメート・トランジション・ボンド・フレームワーク[2]」で特定した適格クライテリアに該当する事業に充てられます。具体的には、2050 年カーボンニュートラルに向けて、エネルギー・製造プロセスの転換を図り、排出量削減および産業競争力強化につなげることを目的とする“エネルギー・製造プロセス転換支援事業”や、GX分野の国内製造サプライチェーンを世界に先駆けて構築することを目的とする“GXサプライチェーン構築支援事業”等に充当される予定です。

第一ライフグループおよび当社は、本債券への投資を通じ、日本におけるカーボンニュートラルの実現および産業競争力の強化に向けた取組みを資金面からサポートすることで、日本社会における脱炭素成長型経済構造への移行の後押しとなることを期待しています。

【本債券の概要】

発行体	日本国（R&I 格付：AA+、JCR 格付：AAA、S&P 格付：A+、Moody’s 格付：A1）
償還期間	10 年

[1] 2025 年 10 月 1 日より、第一ライフグループは、グループ全体の資産運用機能の一体的かつ効率的な活用を通じたさらなる資産運用力の強化に向け、第一生命と第一フロンティア生命に共通する運用執行業務の一部を集約し、それらの業務を受託する形で実施しています。

[2] 本債券の発行に向けて「クライメート・トランジション・ボンド・フレームワーク」が策定されている。
https://www.mof.go.jp/jgbs/topics/JapanClimateTransitionBonds/climate_transition_bond_framework_jpn_revised_version.pdf
本フレームワークは株式会社日本格付研究所と DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社よりセカンド・パーティー・オピニオンを取得。
https://www.mof.go.jp/jgbs/topics/JapanClimateTransitionBonds/jcr_climate_transition_bond_framework_spo_jpn_revised_version_add.pdf
https://www.mof.go.jp/jgbs/topics/JapanClimateTransitionBonds/dnv_climate_transition_bond_framework_spo_jpn_revised_version.pdf